

3B



バッハ

2つのヴァイオリンのための協奏曲
ニ短調 BWV1043 (Vn:郷古 廉、松浦奈々)

【指揮】 飯森範親
【管弦楽】 日本センチュリー交響楽団

ベートーヴェン

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61

【ヴァイオリン】 郷古 廉




ブラームス

ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 op.15

【ピアノ】 関本昌平

2020 **2.24** (月・祝) 14:00開演 (13:00開場) **ザ・シンフォニーホール** 主催:公益財団法人日本センチュリー交響楽団 ザ・シンフォニーホール

S席 5,500円 A席 4,500円 B席 3,500円 (税別) *ご購入時期により消費税額が変動しますので、お問い合わせください。

ご予約・お問合せ ■センチュリー・チケットサービス 06-6868-0591 (平日10:00~18:00) ■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp> ■e+(イープラス) <http://eplus.jp> (パソコン・携帯)

※未就学児の入場は御遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

『多くのお客様にオーケストラの魅力を味わっていただきたい』。そんな日本センチュリー交響楽団とザ・シンフォニーホールの思いが合致してスタートしたシリーズ。開催から1年半が経ち、名演奏家と日本センチュリー交響楽団との美しいハーモニーで名曲を届け、完売続出という高い人気を誇るまでになりました。そして2020年の記念すべき第一弾が決定!今回は“3B”をテーマに、バッハ、ベートーヴェン、ブラームスのコンチェルトを一度に聴ける贅沢なコンサートを開催します。ソリストには、人気と実力を兼ね揃え、名を馳せる郷古廉、関本昌平が出演。若き鬼才たちが腕をふるう、終始濃密な時間を味わえる貴重な一日にご期待ください。

文 金子真由

飯森 範親 [指揮] Norichika Iimori, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、現在は正指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビュー。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。07年より山形交響楽団音楽監督に就任し、そのエネルギッシュな活動は高い評価を受けている。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



松浦 奈々 [ヴァイオリン/コンサートマスター] Nana Matsuura, Violin / Concertmaster

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学を首席卒業、読売新聞社主催による新人演奏会に出演。第15回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽器部門第一位。ヴァイオリンを故・工藤千博、原田幸一郎の両氏に、室内楽を徳永二男、毛利伯郎の両氏に師事。東京クワルテットをはじめジュリアード弦楽四重奏団、フェルメールクワルテット、バルトーククワルテット等のマスタークラスを受講、レガメ・クワルテットの第一ヴァイオリンとして2009年1月JTアートホールにてデビュー。これまでに、「プロジェクトQ」第1章~4章、JTアートホール室内楽シリーズ、鎌倉ゾリスデン、東京アンサンブル、倉敷音楽祭、宮崎音楽祭、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」等に出演。2011年8月から2015年3月まで日本センチュリー交響楽団アシスタントコンサートミストレスを経て、2015年4月より同楽団コンサートマスターに就任。



郷古 廉 [ヴァイオリン] Sunao Goko, Violin

1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。2013年8月ティボール・ヴァルガ シオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ほか受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとり。デビュー以来各地のオーケストラと共演。また2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んだ。現在、ウィーンにて研鑽を積みながら、ヨーロッパにおいても演奏機会を増やしている。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、ハヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。EXTONレーベルよりCDをリリースしている。

使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。

2019年第29回出光音楽賞受賞。



関本昌平 [ピアノ] Shohei Sekimoto, Piano

2005年、20歳でワルシャワの第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位。大阪府出身。パリ・エコール・ノルマル音楽院卒業。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを経て渡米。これまでに、第27回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、第1回福田靖子賞(第1位)、第5回浜松国際ピアノコンクール第4位、第5回モロッコ国際音楽コンクール優勝他、NYカーネギーホール等で演奏。2枚のCDをリリース。稲垣千賀子、M.ヴォスクレセンスキー、二宮裕子の各氏に師事。現在、菊里高校非常勤講師、名古屋音楽大学特任准教授。



日本センチュリー交響楽団 [管弦楽] Japan Century Symphony Orchestra

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎える。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者を務め、多彩な活動を行っている。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」を展開中のいずみ定期演奏会、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。

オーケストラ体感コンサート「タッチ・シ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、

「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <http://www.century-orchestra.jp/>

